

題 名 採取土運搬の運搬路変更に伴う管理について

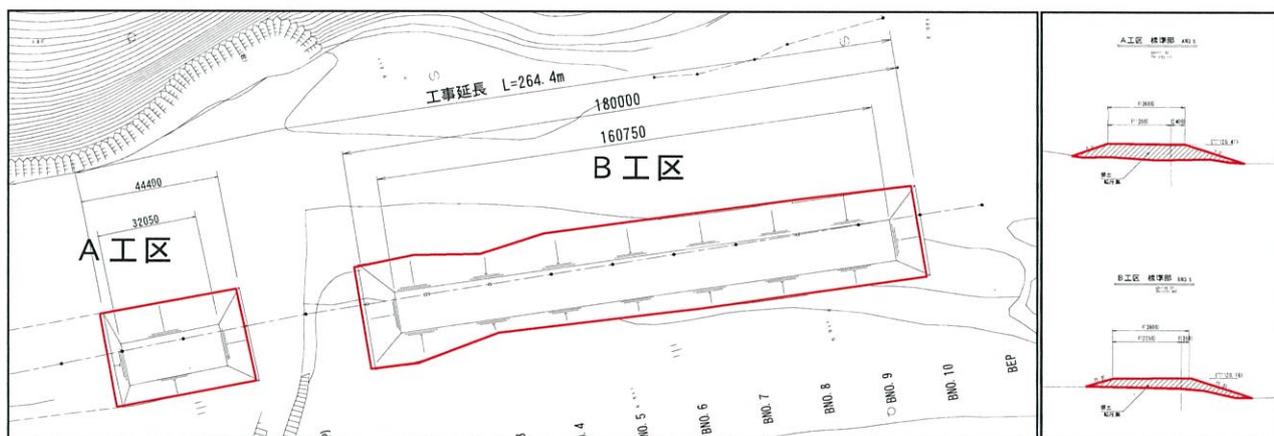
地 区 名 袋井地区
 会 社 名 正光建設株式会社
 名 前 朝 田 正 行 (監理技術者)
 CPDS番号 00161346

1. はじめに

今回施工した工事は、佐久間ダム湖の土砂をダム下流に運搬し盛土する工事です。
 土砂の採取場所は長野県下伊那郡天竜村水神橋付近(採取作業は別工事)になり、盛土箇所は旧佐久間町協働センター付近の天竜川河川内になります。運搬路は、佐久間ダム湖 右岸 愛知県県道1号線になり、運搬距離は 片道 L=40.6Kmになります。この工事の目的は、天竜川ダム再編事業で実施する排砂影響の予測・検討に必要なデータを取得する為です。

2. 工事概要

工 事 名 平成28年度天竜川佐久間地区置土試験工事
 発 注 者 国土交通省浜松河川国道事務所
 工事場所 浜松市天竜区佐久間町 ～ 長野県下伊那郡天竜村
 工 期 平成28年8月23日～平成29年6月6日
 工事内容 置土試験盛土 17,200m³ (採取土 5,500m³、購入土11,700m³)
 請負金額 ¥162,367,200 -



3. 現場における問題点

1) 採取土運搬開始3日目に大雨により運搬路になっている佐久間ダム湖右岸県道1号線 愛知県と長野県の県境付近にて土砂崩れが発生し通行止めになり運搬中止となりました。

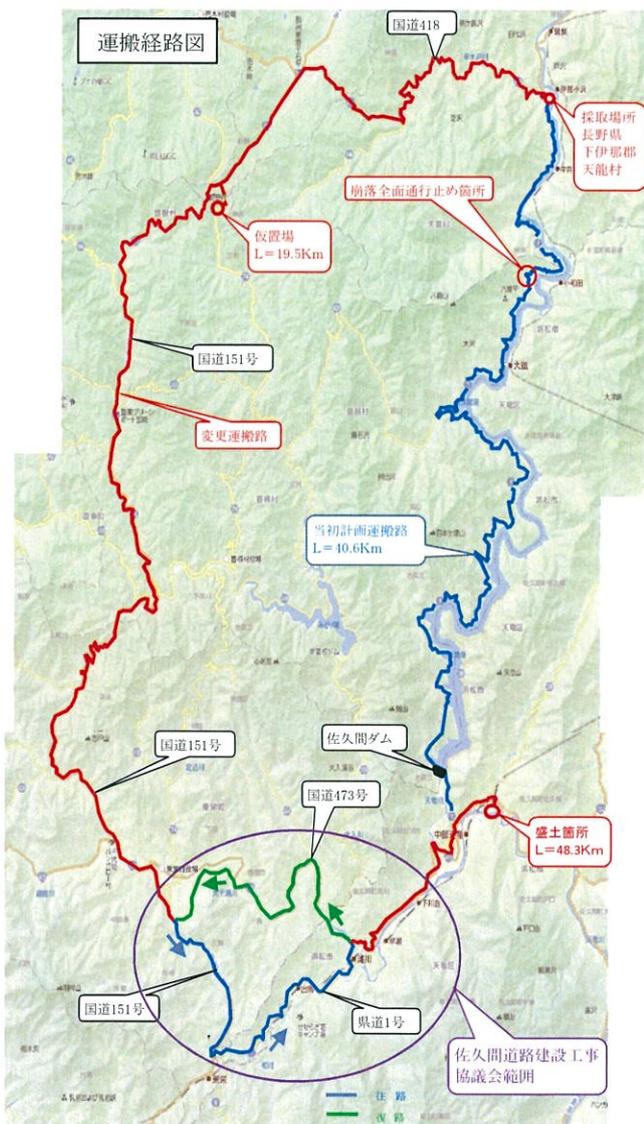
愛知県建設事務所に確認したところ土砂崩れの規模が大きく復旧の目途が立たないとの事。

この旨を担当監督員に報告し、指示を頂き迂回路(国道151号線)での運搬になりました。

よって運搬計画の再検討が必要になりました。

1. 迂回路となる 愛知県内 国道473号線、県道1号線 長野県内国道418号線は道幅が非常に狭くカーブが多い為 使用にあたり各関係機関と連絡調整が必要
2. 佐久間道路建設工事(三遠南信道)の運搬車両との重複による交通トラブル
3. 運搬距離が長くなり1日の運搬回数が減少
4. 過積載防止、運搬土量確保の為、車両台数の管理

2) 採取場所の河川水位が降雨、雪解け水で水位が上がり河川内に入れなくなってしまう為河川内から土砂を短期間で搬出しなければならない。



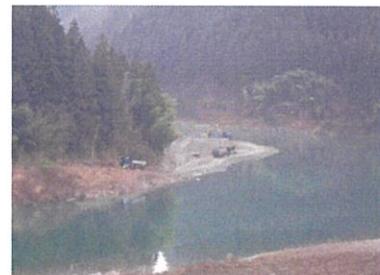
崩土箇所
県道1号線



着手前
採取場



作業中



増水時



4. 対応策・結果

- 1) - 1 各関係機関に出向き工事内容及び迂回路にした理由を説明したうえ、各路線近隣住民へ説明文を回覧にして配布しました。
- 1) - 2 佐久間道路建設工事協議会に参加させて頂き協議会ルールに従い同じルートにて運搬しました。又、佐久間道路建設工事車両と区別する為、運転席前フロントガラスに工事車両を明示する為、ステッカーを青、赤色各1枚を設置し、1グループ3～5台最高5グループとしグループ間の間隔時間を20分としました。



- 1) - 3、2) 採取場所から置土場所まで1日1回の運搬となってしまう為、迂回路途中に仮置場を設け水位が上がる前に仮置き場(片道L=19.5Km)まで予定数量を運搬。その後仮置場より置土試験盛土場所(片道L=48.3Km)に1日2回運搬しました。
- 1) - 4 過積載にならないよう全ての車両の荷台を計測し、積荷高さを明示しました。又、工期内完成の為運搬業者と綿密に打合せを行いダンプの運行管理を行い日々の運搬土量を管理しました。



